

北海道 釧路中部圏域 総合水産基盤整備事業計画 (R4~R8)

1 圏域の概要

(1) 水産業の概要

①圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

当圏域は、北海道太平洋東部海域に位置し、釧路町を範囲としている。

圏域内には、流通拠点である昆布森漁港と生産拠点及び養殖拠点である老若舞漁港、仙鳳趾漁港があり、コンブなどの採藻漁業、サケ定置網漁業、カレイやタラを対象とした刺し網漁業が営まれている。また圏域の東側海域ではカキの養殖が行われている。

漁業活動の中心的役割を担っている漁業協同組合は、昆布森漁港に所在する「昆布森漁業協同組合」である。

②主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

当圏域における令和元年度の漁業生産は、5,184トンとなっており、主要漁業種類はサケ定置網漁業とコンブ漁業で、両魚種で圏域内の約55%にあたる2,860.7トンの水揚げとなっている。

また、刺し網漁業によるカレイ類やタラ類などの魚類、ツブやホッキなどの貝類、タコ、ウニ、カニ類など多様な魚種が漁獲されている。

主たる漁獲物であるサケ・コンブとも近年、漁獲が減少傾向であるが、種苗の放流方法の工夫や底質改善（雑海藻駆除）を行うなど資源の回復を図っている。

③水産物の流通・加工の状況

昆布森漁港においては、漁港内に産地市場を有し、昆布森漁港に水揚げされる漁獲物の集積・出荷の拠点となっている。圏域内で漁獲された水産物は、主に道内中心に流通している。コンブ類についてはそのまま漁業者が所有する干場において乾燥され、札幌方面などに出荷されている。

老若舞漁港や仙鳳趾漁港ではコンブの水揚げが大半を占めており、昆布森漁港と同様に漁業者が所有する干場において乾燥されたのち、札幌方面などに出荷されている。

④養殖業の状況

圏域内では、カキやホタテガイの養殖が行われており、特にカキは仙鳳趾漁港の水揚げの約6割を占める主要魚種となっている。近年はブランドカキとして知名度を上げており道内を中心に流通している。

⑤漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

圏域内での組合員数は、この5カ年間で2%程度の微減で推移しており、減少傾向ではあるものの、急激な減少は見られない状況である。

⑥水産業の発展のための取り組み

水産資源の継続的な利用を図るため、種苗放流（サケ、ウニ）や中間育成（サケ）、底質改善（雑草駆除）（コンブ）などを実施している。

⑦水産基盤整備に関する課題

産地市場を有する昆布森漁港では令和2年度に屋根付き岸壁が整備され、令和3年度より供用が開始された。今後、ソフト対策を含め衛生管理体制の定着化を進めていく必要がある。

仙鳳趾漁港では、近年頻発している高潮や大型低気圧により港内泊地・航路の静穏が著しく低下する状況にあり、外郭施設の整備による安全利用の確保が喫緊の課題となっている。

また、従前よりコンブや沿岸漁業の生産基地として中核的な役割を担ってきたが、カキ養殖業の発展に伴う漁船利用増加により多層係留を余儀なくされるなど係留施設や用地の不足が顕在化しており、加えて耐震機能も備えていないため、地震や津波などの災害後、速やかな漁業活動再開が困難な状況にある。

⑧将来的な漁港機能の集約化

現状、圏域内の漁港施設に関しては統合、廃止、集約化等、機能再編に係る計画は予定されていないが、今後、漁業情勢を取り巻く環境の変化により対応が必要となった場合は、随時検討していく。

(2) 圏域設定の考え方

①圏域タイプ	流通拠点型	設定理由：産地市場を有する流通拠点漁港である昆布森漁港に水産物が集約され、札幌市などに出荷されている。また、圏域内で生産された養殖カキが仙鳳趾漁港、老若舞漁港で陸揚げされ道内を中心に流通している。
②圏域範囲	釧路町	設定理由：流通拠点である昆布森漁港に釧路町内の水産物が集約されている。また、カキ養殖が釧路町沖で展開されており、仙鳳趾漁港、老若舞漁港に陸揚げされている。 ・ 昆布森漁港：釧路町沿岸で漁獲された水産物（主に魚類）が集約されている。 昆布森漁業協同組合が所在する。
③流通拠点漁港	第2種 昆布森漁港	設定理由：産地市場を有し、年間10億円前後の属地陸揚量がある。また、衛生管理対策の一環として天蓋施設が整備されており、災害発生時に早期機能回復を図れるよう耐震整備も行われている。 ・ 利用（登録）漁船： 140（152）隻（R1） ・ 属地陸揚量： 2,793.4 トン ・ 属地陸揚金額： 9.43 億円 ・ 衛生管理計画を策定し、水産流通基盤整備事業により衛生管理対策として天蓋施設整備や防災減災の観点から岸壁の耐震化等を実施する。 ・ BCP策定済

④生産拠点漁港	第1種 老者舞漁港 仙鳳趾漁港	<p>設定理由：コンブ等の生産基地として中核的な役割を担っており、登録漁船数が50隻以上ある。また、仙鳳趾漁港では岸壁の耐震・耐津波化の整備による災害時の早期機能回復が計画されている。</p> <p>■老者舞漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用（登録）漁船： 38（57） 隻（R1） ・属地陸揚量： 890.9 トン ・属地陸揚金額： 2.59 億円 ・コンブ漁業、サケ定置漁業を主体とする。 ・荒天時、漁船避難場所となっている。 <p>■仙鳳趾漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用（登録）漁船： 57（52） 隻（R1） ・属地陸揚量： 1,499.8 トン ・属地陸揚金額： 11.47 億円 ・カキ養殖業、コンブ漁業を主体とする。 ・荒天時、漁船避難場所となっている。
⑤輸出拠点漁港	第2種 昆布森漁港	<p>設定理由：サケについて以下の要件に合致するため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通拠点漁港に属する ・北海道漁連等関係機関と連携し、中国に輸出 ・栽培養殖魚種であるサケの陸揚量1,000 t 以上 <p>※ 近年、不漁により陸揚量減の年もあり</p>

(令和元年)

圏域の属地陸揚量	5,184トン
圏域の総漁港数	3 漁港
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	0 港湾

圏域の登録漁船隻数（隻）	261隻
圏域内での輸出取扱量（トン）	8トン

⑥「養殖生産拠点地域」について

釧路中部圏域内には、釧路町尻羽岬沿岸で営まれているカキ養殖業とその陸揚漁港である仙鳳趾漁港、老者舞漁港からなる釧路中部養殖生産拠点地域が含まれている。

仙鳳趾漁港で陸揚げされたものは「ブランドカキ」として道内を中心に流通し、老者舞漁港で陸揚げされたものは主に釧路市を含む域内及び周辺地区で流通・消費されている。

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	釧路中部養殖生産拠点地域
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	カキ
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量（収穫量）（トン）	970.2トン
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額（百万円）	685百万円

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

・生産・流通機能の強化

昆布森漁港（流通拠点漁港）では、危害要因を排除し、衛生管理体制を向上させるために天蓋施設が整備された。

また、総合的管理体制の確立については、関係者の衛生管理意識の向上や施設の効果的運用を図るためにソフト施策を講じていく必要があることから、地元のニーズや水産業を取り巻く当該圏域の情勢を勘案しながら検討を進める。

・輸出促進への対応

圏域内の漁港施設等について、衛生基準等に対応し輸出を促進するため、衛生管理された高品質な水産物の流通増大及び鮮度保持対策を進める必要がある。

②養殖生産拠点の形成

圏域内において養殖生産拠点漁港である仙鳳趾漁港の施設整備が進められており、今後、港内静穏の維持や災害時の早期機能回復に向けた岸壁の耐震・耐津波化の整備が計画されている。漁港施設の整備により養殖生産拠点の機能強化を図る。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

当該圏域の主要魚種である回遊性魚種のカケ、マス等は、海洋環境の変化等により近年記録的不漁が続いている状況にあり、地域経済に与える影響が大きく、地域水産業不安定化の一因となっている。

一方、資源管理や漁場の整備等により地区の主要な地先資源であるカレイ類、ツブ、タコ類の漁獲量は増加傾向にあることから、海洋環境の変化等による影響を踏まえて沖合にはヤナギダコの産

卵環境のほか、魚礁の造成により資源管理等の取組が行われているカレイ類の育成・生息環境づくりを行い、水産生物の生活史に配慮し環境変化に対応した漁業生産力の強化を図る。

②災害リスクへの対応力強化

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震など大規模地震・津波の発生が切迫し、また台風・低気圧災害の頻発化・激甚化による漁港関係施設の被害が増大傾向となる中で、陸揚げから流通に至る地域水産物の安全安心の確保と、被災後の早期再開を可能とする対策を講じる。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

圏域内で漁業者自営の水産物直売所を営んでいる事例があることから、既存の取り組みを継続・発展させることで交流人口の増や水産物の付加価値化による所得向上を目指す。

②地域の水産物を支える多様な人材の活躍

水産業に従事する多様な担い手による様々な活動が支障なく継続できるよう適宜対策の検討を進めていく。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産物の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

流通拠点漁港である昆布森漁港については、高度衛生管理計画に基づき水産流通基盤整備事業を活用した施設整備を実施し、令和2年度の天蓋施設完成をもって事業が完了している。今後、ソフト対策も含め衛生管理の向上による高品質水産物の供給体制を構築するとともに輸出促進を図る。

②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
仙鳳趾	養殖拠点	水産生産基盤整備事業	仙鳳趾漁港	第1種	

※ 養殖カキについては仙鳳趾漁港が流通の拠点となっている

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
北海道太平洋東部	環境変化、資源管理	水産環境整備事業
釧路町	藻場・干潟	水産多面的機能発揮対策

沖合に地区の主要な水産物の一つであるタコ類の産卵基質を造成するほか、成長段階に応じ深淺移動するカレイ類産卵親魚の良好な生育環境を創出する魚礁を設置する。また、魚礁の設置によりソウハチやクロガシラガレイ、種苗放流を行っているマツカワを含むカレイ類やタコ類、ホッケ、タラ、スケトウダラの生息の場づくりを行い、これら魚類の生活史を考慮した沿岸から沖合までの一体的な整備により、水産資源の回復・増大を図り、地域の漁業生産力を強化する。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
仙鳳趾	早期再開	水産生産基盤整備事業	仙鳳趾漁港	第1種	

地震や津波などの被災後も速やかに水産業の再開が可能となるよう岸壁の耐震・耐津波化など防災対策を講じる。

また、台風・低気圧災害の頻発化・激甚化による被害防止のため、外郭施設の改良整備を実施し、漁港施設の保護と利用者の安全確保・安心利用を図る。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

老者舞漁港及び仙鳳趾漁港に隣接する漁村集落では漁業者自営の水産物直売所が設けられており圏域外からも購入客が訪れて地域の魅力発信に寄与している。これらの取り組みを継続し交流人口の増や水産物の付加価値化による所得向上を目指す。

また、現在、具体的な施策は計画されていないが、漁港機能の集約・分担の可能性の模索や漁港の「海業」への活用等、既存ストックの有効活用について関係者と検討する。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

当圏域では、コンブ干し作業や養殖カキの選別、カキ剥きなどの一次加工に家族総出で当たるなど、女性や高齢者、若年層の従事者も多い。また漁業協同組合の女性部や青年部では漁港清掃などの地域活動も盛んに行われている。

今後、高齢化など年齢階層の変遷が迫る中で、これらの活動に支障が生じる懸念もあることから状況に応じた対策の検討が必要となる。

4. 環境への配慮事項

- ・漁港内の航行に必須である標識灯について、小型太陽光パネルで電力供給できる仕様に順次更新している。
- ・漁業者が漁船の更新や機関換装をする際には、「競争力強化機器導入事業」や「水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業」を活用し、操業経費の削減を図っている。

5. 水産物流通圏域図

別添のとおり

北海道釧路総合振興局水産物流通圏域図

釧路西部圏域 流通拠点（一般）型

流通拠点：白糠漁港（第2種）
 圏域総陸揚量：3,704.0 t
 圏域総陸揚金額：18.7億円
 漁港3港、港湾1港

釧路中部圏域 流通拠点（養殖・採貝業）型

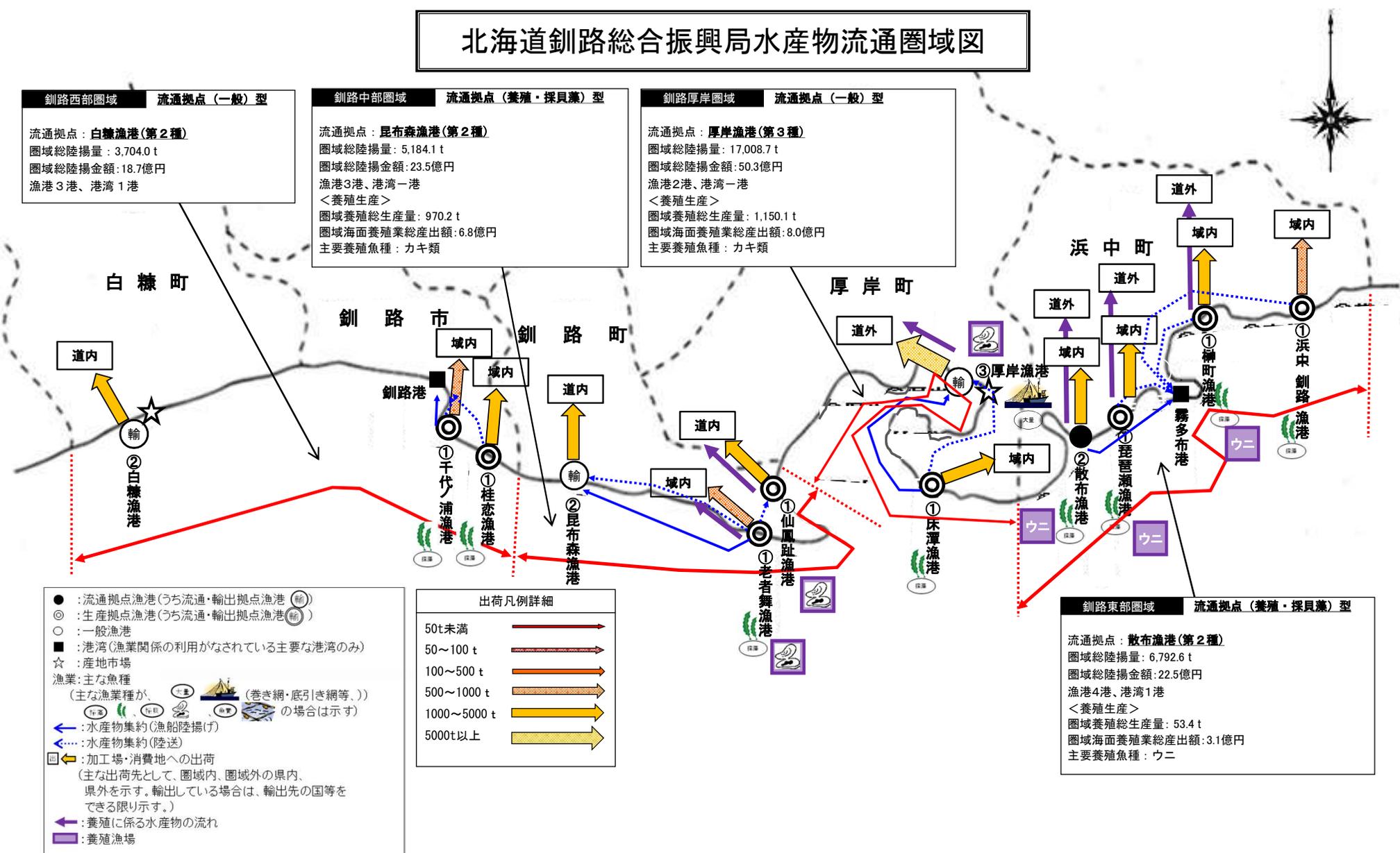
流通拠点：昆布森漁港（第2種）
 圏域総陸揚量：5,184.1 t
 圏域総陸揚金額：23.5億円
 漁港3港、港湾1港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量：970.2 t
 圏域海面養殖業総産出額：6.8億円
 主要養殖魚種：力キ類

釧路厚岸圏域 流通拠点（一般）型

流通拠点：厚岸漁港（第3種）
 圏域総陸揚量：17,008.7 t
 圏域総陸揚金額：50.3億円
 漁港2港、港湾1港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量：1,150.1 t
 圏域海面養殖業総産出額：8.0億円
 主要養殖魚種：力キ類

釧路東部圏域 流通拠点（養殖・採貝業）型

流通拠点：散布漁港（第2種）
 圏域総陸揚量：6,792.6 t
 圏域総陸揚金額：22.5億円
 漁港4港、港湾1港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量：53.4 t
 圏域海面養殖業総産出額：3.1億円
 主要養殖魚種：ウニ



- ：流通拠点漁港（うち流通・輸出拠点漁港（輸））
- ◎：生産拠点漁港（うち流通・輸出拠点漁港（輸））
- ：一般漁港
- ：港湾（漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ）
- ☆：産地市場
- 漁業：主な魚種
 （主な漁業種が、（巻き網・底引き網等、）
 の場合は示す）
- ←：水産物集約（漁船陸揚げ）
- ⋯：水産物集約（陸送）
- ⇄：加工場・消費地への出荷
 （主な出荷先として、圏域内、圏域外の県内、
 県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等を
 できる限り示す。）
- ←：養殖に係る水産物の流れ
- ：養殖漁場

出荷凡例詳細

50t未満	
50～100 t	
100～500 t	
500～1000 t	
1000～5000 t	
5000t以上	

